



田辺鐵素株式会社の爭議に際して全無産者に檄す！

資本專制の典型——田辺平太郎の暴虐と正義の旗の前に血盟して
彼此田辺と勇闘する従業員を支持せよ！

東京府下大島町八丁目所設、田辺鐵素株式会社が、工場に従業員は去る九月十二日を以て従来労働賃銀が他工場の同一産業のそれと比較して約一割五分方も極劣で生活賃銀としての収入に満たざるものあり加わつて最近の生活が益々窮乏の情態を加重し現狀のままで一家を餓死にまで導きかへんとすや實情に當面したため、止むなく忍従と自重も生ずるとする人間の本能の欲求は遂に力の如き極めて底程度の待遇改善の歎願を工場主田辺平太郎氏に提出した

○一内容一〇

(一) 塗部の單價従来三鉄五厘を四鉄五厘とせられたし(二) 塗部の單價従来二鉄三鉄五厘とせられたし(三) 常備者に対して年二回昇給せられたし(四) 請負者の請負作業なき場合は半日給を支給せられたし以上
同会社はその当初から全く他に類例なきまでに資本專制の態度を最上露骨に抱持表示して今日の社会關係に於ける労働者の必須欠く可からざる根據——生産的價値を無視し唯自己の利益の獲得のみを以て頭して従業員の収入生活等に対しては一顧も顧みず全く奴隸的服従を要求するに強要し田辺平太郎氏は肥え太つて来た。最近一ケ年の間に於てこの田辺の自私利的行爲に對して従業員は前後二回に亘つて待遇改善の要求を会社に提出したがその都度西女求に對して一瞥もせられず教の労働者の首を切り飛ばはして、女求に代へる賃金減額に過ぎない。この專制と積累を振り廻す輝いた。然るに如何にその經濟的地位の把握からしてその權力振り廻す輝いた。然るに根本に横ばる問題即ち従業員収入の解決を計らざる限りには、彈廠的政策の奏効しな。従つて今度亦新たな従業員は更に由上改革守り会社に提出してその實施の承認をせんとした。然るに人類社会の相互扶助の觀念と徳義的觀念は、自己の利欲と利己的精神のためには滅せざる。彼田辺は亦この従業員の切なる歎願に對して一々面案拒絶の立場を鎖つた。全社員解雇の殊處の毒手を振つて従業員を知らくして来た。全労働者の諸君——田辺鐵素の従業員諸君は唯、單に自己の生存のみを謀るのみならず人類相互の円満と平和なる發展のためへ高き理想の上に立つて田辺の資本家に向つてその巧利的精神の反省を求めんとした。然るに残忍暴虐その極みを知らざる彼田辺は自己の利益の前には正義の觀念をアミニシリ盡した。即ち彼田辺は自己の利益の前には正義の觀念を無視した。労働相互の摩擦を離れず觀念を打ち破つた。相互扶助の觀念を工廠殺した。今や田辺鐵素の従業員はこの資本の暴虐に對して、殊處に奮へて正義の旗印高く田辺に向つて闘争を續けようとする。全労働者諸君——正義のために闘争の同志を支持せよ、守れ！
然して、殊處 暴虐の典型 田辺の毒手の我等の力で、倒せ！

昭和三年九月八日
関東労働組合
田辺鐵素株式会社爭議本部
(大島町八丁目三三三番地本部聯合会内)

田辺鐵素